

仕様

型名	UL-1800	
タンク容量	2.7L	
外形寸法(約mm)	幅232×奥行452×高さ460	
電源	交流100V 50/60Hz	
消費電力	940W (湯沸しヒーター700W・保温プレート上ヒーター120W・保温プレート下ヒーター120W)	
質量	約11.3kg	
コードの長さ	2.0m	
最小水量	0.7L	
最大水量	1.8L	
温度ヒューズ	湯沸しタンク用	157°C (2個)
	保温プレート上用	167°C (2個)
	保温プレート下用	167°C (2個)
電流ヒューズ	15A	

- 日本国内交流100V専用(交流100V以外の電源では使用できません。)
- 屋内専用です。直射日光の当たる場所や高温多湿の場所での設置はおさげください。
- 特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。
- このコーヒープリューワーは、ユニマットライフオリジナル製品です。
- 電源電圧の変動の激しい場合、マイコン制御に影響が出る場合があります。
- 機器を安全にご使用いただくために、アースの取り付けをおすすめします。

製品についてのお問い合わせは

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一製品が故障したときや、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら下記担当営業所へお問い合わせください。

—— 担当営業所 ——

UNIMAT LIFE

UL-1800 型 ©B/A
PRINTED IN JAPAN '10-04

業務用/屋内用

コーヒープリューワー CAFECO

High quality coffee machine

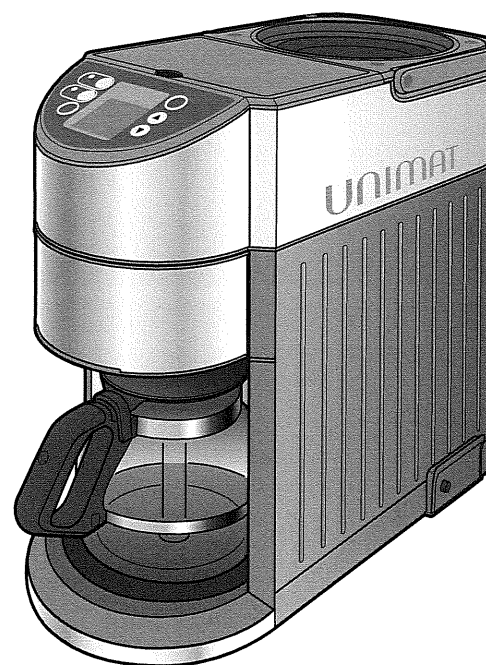
取扱説明書

本製品は、デカンタと報知音について次の選択ができる仕様となっております。

デカンタ	ガラスデカンタ(保温プレート保温あり)	報知音	あり
	ステンレスデカンタ(保温プレート保温なし)		異常報知のみ (操作報知、動作報知は鳴りません。)

設置時にはあらかじめお客様が希望された仕様に設定されておりますので、ご使用前にご確認願います。(確認方法はP.5、7参照)

- この取扱説明書は、「ガラスデカンタ」、「報知音あり」の仕様で説明しています。



もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
抽出する	6
保温する	7
湯沸しを予約する	8
注水量選択機能	9
お手入れ	10
故障かなと思ったとき	11
仕様	裏表紙
製品についてのお問い合わせは	裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を表します。

注意 △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害^{*2}または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を表します。

禁止 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。














^{*3} 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

^{*1} 重傷とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

^{*2} 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど・感電などをさします。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。









警告

 改造はしない。また技術者以外の方は、絶対に分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理は裏面に記載している担当営業所にご相談ください。	 デカンタなしで使わない やけどすることがあります。
 水につけたり、水をかけたりしない 感電・ショート・の恐れがあります。	 コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがをする恐れがあります。	 お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。またぬれた手で抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。
 水以外のものは入れない	 差し込みプラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが堆積しないよう定期的に清掃する 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。	 定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 傾けたり、ゆすったりしない 湯が流れ出てやけどの原因になります。	 差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む 感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。
 コードを傷つけない 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。	

警告

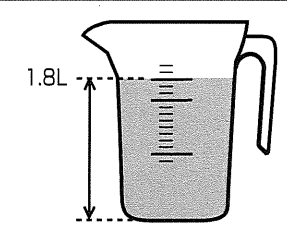
異常・故障時には、直ちに使用を中止する
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
・コードや差し込みプラグが異常に熱くなる ・コードに深い傷や変形がある ・焦げくさいにおいがする
・製品の一部分に割れ・がたつき・ゆるみがある ・ビリビリと電気を感じる ・コードを動かすと、通電したり、しなったりする など
このような場合は、すぐに差し込みプラグを抜いて、裏面に記載している担当営業所に必ず点検・修理を依頼する

注意

 使用中や使用後しばらくは高温部(デカンタのガラス部・チャンバー・保温プレートなど)に触れない やけどの原因になります。	 壁や家具の近くで使わない 蒸気または、熱で家具を傷め、変色・変形の原因になります。
 抽出中にデカンタをはずさない やけどの原因になります。	 使用時以外は、メインスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
 デカンタをのせたまま本体を動かさない やけどやけがの原因になります。	 差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。
 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない 火災の原因になります。	 お手入れは冷めてから行う 高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お願い

水のかかるところや、火気の近くでは使用しない 感電や漏電の原因になります。	周囲はすき間を開ける 周囲は10cm以上すき間を開けてください。故障や火災の原因になります。
水を入れるときにあふれさせない 電気部品に水がかかり、感電・火災の原因になります。	直射日光の当たる場所や発熱器具のそばに置かない。また屋外で使用しない 故障や火災の原因になります。
コーヒー粉を入れすぎない コーヒーがあふれて感電や火災の原因になります。	可燃性スプレーを近くで使わない 電気接点のスパークで引火する恐れがあります。
コーヒーを抽出するときは、1.8L以上の水を入れない 湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。	製品の上に乗ったり、物をのせたりしない 転倒・落下によりけがや破損の原因になります。



抽出する

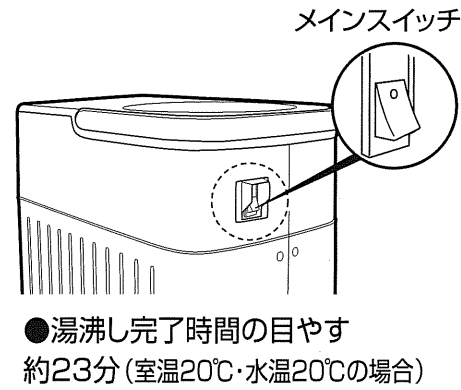
※使い方はガラスデカンタをご使用の場合を説明しています。ステンレスデカンタをご使用の場合は、ステンレスデカンタ付属の取扱説明書をご覧ください。

1 差し込みプラグをコンセントに差し込み、背面のメインスイッチを入れる

「ピー」という音が出て、湯沸し中ランプが点灯し、湯沸しがはじまります。



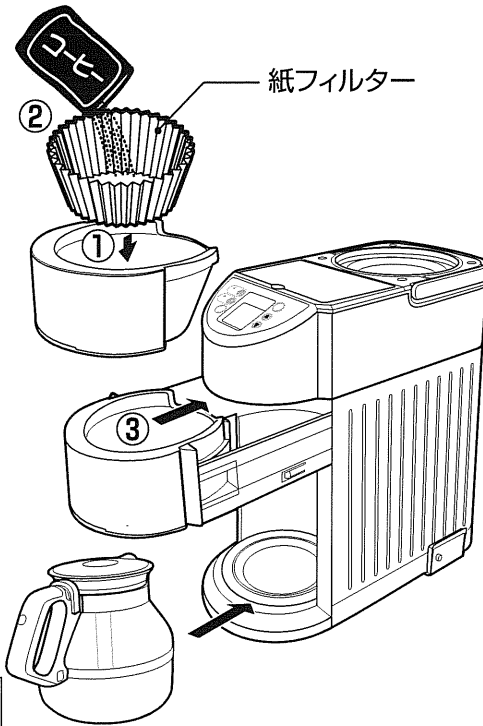
湯沸しが完了すると、完了報知し、湯沸し中ランプが消灯、適温ランプが点灯して湯の保温を開始します。



2 コーヒー粉を入れる

- ①チャンバーに紙フィルターをセットする
- ②パックのコーヒーを入れる
- ③チャンバーをセットし、チャンバーケースを押し込む

●コーヒー粉をご説明した量以上入れると抽出中にチャンバーよりコーヒーがあふれる恐れがあります。



3 ガラスデカンタを保温プレート下にセットする

デカンタにふたをし、保温プレート下に確実にセットします。

4 抽出する量の水を入れる

水さしで抽出したい量の水を入れると、表示部に「抽出中」が点滅表示します。同時に抽出中報知(ピピッ、ピピッ...)を行います。

※実際に抽出する量は注水した水の量よりも少なくなります。

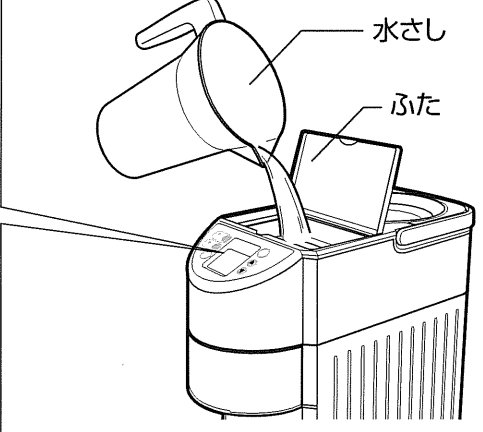
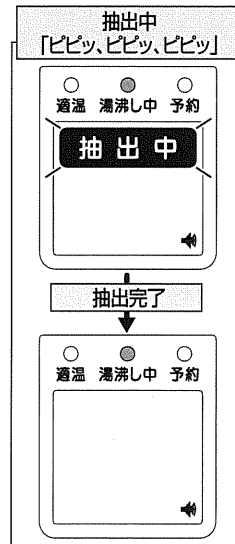
※水は足し水をしないで、一度に入れてください。
※コーヒーを抽出するときは1.8L以上の水を入れないでください。

※抽出報知音が気になる場合は、裏面に記載している担当営業所までご連絡ください。

※「抽出中」表示中、2分以上たってから水を入れるとエラー表示します。→P.11参照

※抽出を始めるのと同時に「保温 下 入/切」キーを押す、保温を開始することをおすすめします。→P.7参照

●「抽出中」表示が消え、抽出中報知が停止すると抽出完了の目やすです。デカンタを取り出すときは必ず抽出が終わったことを確認してください。



- 注水口に熱湯を入れないでください。変形・誤作動の原因になります。
- 注水口にコーヒー粉をこぼさないでください。コーヒー粉が詰まって、水があふれることがあります。
- 抽出直後や保温中にガラスデカンタをはずしたとき、チャンバーからコーヒーのしずくが落ちることがあります。落ちたコーヒーはきれいにふき取ってください。そのまま放置すると汚れやベタつきの原因になります。

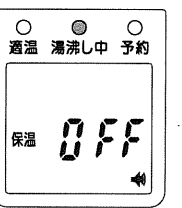
- チャンバーに紙フィルターをセットせずコーヒー粉を入れないでください。チャンバーの穴に粉が詰まって、コーヒーがあふれることがあります。
- 本体のふたを開けたままにしないでください。タンクの湯が蒸発します。
- ガラスデカンタを他の熱源で加熱しないでください。ガラスデカンタの変形・破損の原因になります。

ステンレスデカンタをお使いの方へ

ステンレスデカンタをご使用の方は、安全のため、保温プレート上、保温プレート下の電源が入らないようになっています。

- 湯沸し中の表示部に「保温 OFF」と表示されていることを確認してください。
- ご使用の際は、ステンレスデカンタのふたをはずして使用してしてください。コーヒー抽出後は、ふたをしてください。

(湯沸し中)



保温する

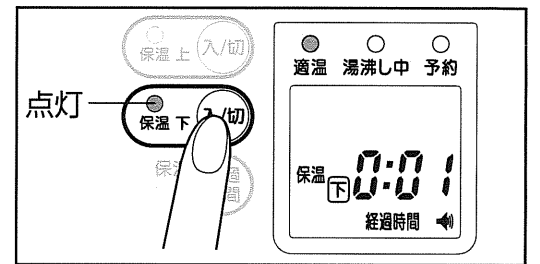
「保温 下 入/切」キーを押す

保温 下 ランプが点灯し、コーヒーの保温が始まります。同時に表示部に保温経過時間が表示されます。

再度「保温 下 入/切」キーを押すと保温 下 ランプが消灯し、保温を終了します。

※コーヒー保温は5時間経過すると自動的に切れます。

※保温プレート下が「入」の状態では抽出すると保温経過時間は0分に戻ります。



保温プレート上で保温する場合

本機は、抽出したコーヒーを保温するための保温プレートを本体上部にも設けています。保温プレート上、保温プレート下の両方でコーヒーの保温ができます。

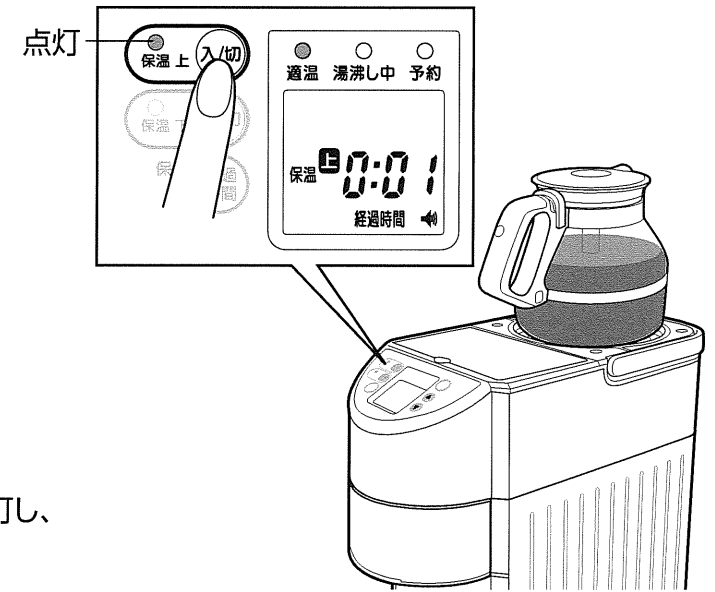
①保温プレート上にコーヒーの入ったデカンタをのせる

②「保温 上 入/切」キーを押す

保温 上 ランプが点灯し、コーヒーの保温が始まります。同時に表示部に保温経過時間が表示されます。

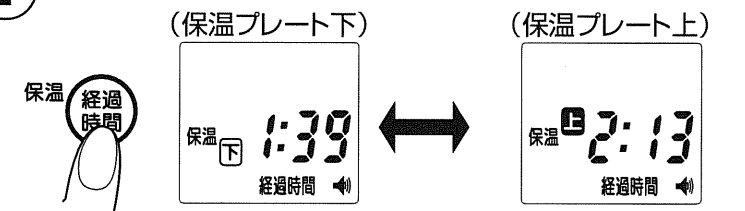
再度「保温 上 入/切」キーを押すと保温 上 ランプが消灯し、保温を終了します。

※コーヒー保温は5時間経過すると自動的に切れます。



コーヒー保温経過時間切りかえ

上下両方の保温プレートを同時に使用してコーヒーを保温しているとき、「経過時間」キーを押すごとに表示部の保温上、保温下の保温経過時間が切りかわります。



- 保温プレートは通電中および通電直後は高温になっていますので触れないでください。
- 保温プレートは保温専用です。一度冷めたコーヒーを温めることはできません。

- 必ずコーヒーの入ったガラスデカンタがあることを確認し、「保温 下 入/切」キーまたは「保温 上 入/切」キーを押して「入」にしてください。
- 上下両方の保温プレートを同時に使用するときは、先に保温している側(経過時間が長い側)を優先して表示しています。

湯沸しを予約する

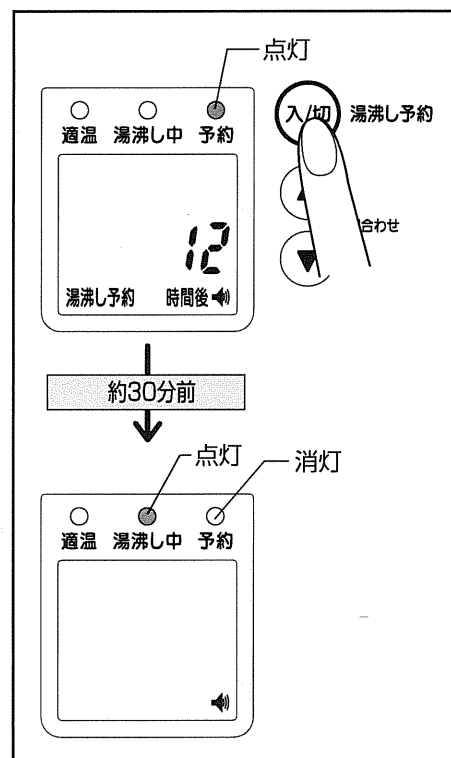
「湯沸し予約」キーを押すと、湯沸しを完了する時間の設定ができます。
夜間などしばらく使用しないときは、一度ヒーターへの通電を止め、設定された時間後にコーヒーが抽出できる状態になります。

1 「湯沸し予約」キーを押す

予約ランプが点灯し、表示部に「湯沸し予約」が点灯、湯沸し完了までの時間が点滅表示します。

2 「時間合わせ ▲▼」キーを押し、設定したい時間に合わせる

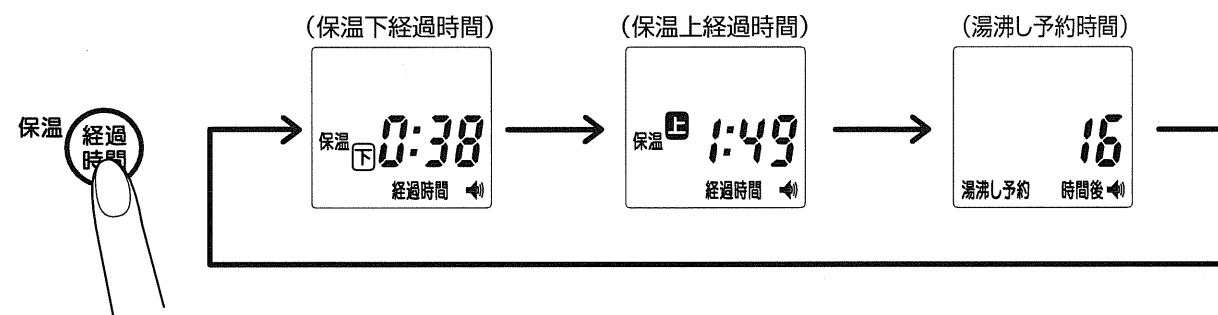
- ▲ または ▼ キーを押すごとに1時間単位で時間がかわります。
- ▲ または ▼ キーを長押しすると、早送り(早戻し)ができます。
- 予約可能時間は、1～99時間です。
- 初めて設定するときは、12時間後に設定されていますが、次回からは、前回設定時間を表示します。
- 湯沸し予約中は、1時間経過ごとに予約時間を減算して表示します。
- 設定した時間の約30分前になると湯沸しを開始します。
- 表示部の湯沸し完了までの時間が点滅から点灯に変わると、予約時間が確定し、予約を開始します。



- 湯沸し予約中は、コーヒー保温機能のみ使用できます。
- 湯沸し完了時間は目やすです。水温などによりかわる場合があります。
- 湯沸し予約を中止するときは、再度「湯沸し予約」キーを押してください。(予約ランプが消灯します。)

湯沸し予約中にコーヒー保温経過時間を見るときは

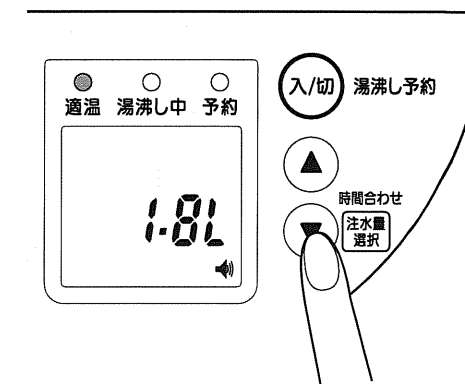
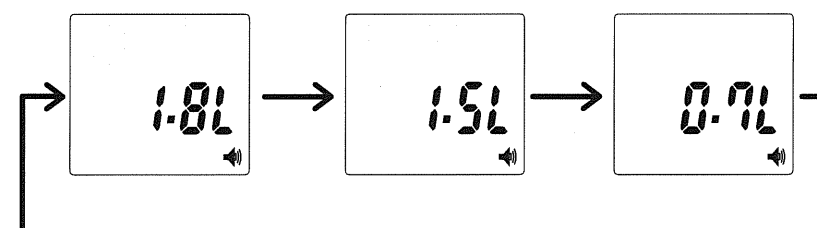
「湯沸し予約」中のコーヒー保温は、最長5時間まで継続保温します。
「経過時間」キーを押すごとに「保温下経過時間」→「保温上経過時間」→「湯沸し予約時間」→「保温下経過時間」…の順に表示が切りかわります。



注水量選択機能

本機は、注水する量を設定することにより、「抽出中」表示時間を変更することができます。(通常は1.8Lに設定されています。)

「時間合わせ」キーの ▼ を押すごとに1.8L→1.5L→0.7Lの順に切りかわります。
使用するコーヒーの量に合わせて設定してください。



- 1.5L、0.7Lを選択した場合、抽出が終了すると、1.8Lに戻りますので1.8L以外を注水する場合は、その都度設定してください。
- 1.5L、0.7Lを注水するときに設定を1.8Lから変更しなくても「抽出中」表示、および報知音が鳴る時間が長くなるだけで抽出に支障はありません。
- 注水量選択後、3分以内に抽出を開始しない場合は、注水量表示は消灯し、1.8Lの設定に戻ります。
- 注水量が表示されている間は、保温経過時間は表示されません。

お手入れ

コーヒーブリューワーはコーヒーを抽出するものですから、いつも清潔にしておいてください。また、製品を長持ちさせるためにも定期的にお手入れしてください。
 お手入れのときは、メインスイッチを「切」にして、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 通電直後は保温プレートは高温になっています。お手入れは冷めてから行ってください。
- お手入れの際にみがき粉・たわし類・ベンジン・シンナー・アルカリ洗剤・アルコールなどは使わないでください。**塗装面やプラスチック・ガラス容器などを傷めます。**
- 本体表面に直接水をかけないでください。**漏電や事故の原因になります。**
- 熱湯で洗わないでください。**変形や破損の原因になります。**
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わないでください。**変形の原因になります。**

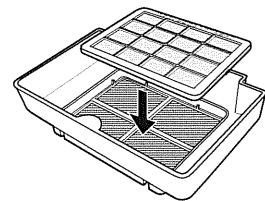
チャンバー・ふた・注水口カバー・ ガラスデカンタ・ガラスデカンタふた

湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて洗ってください。
 ※ステンレスデカンタのお手入れについては、ステンレスデカンタ付属の取扱説明書をご覧ください。

本体

湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかい布に含ませて固くしぼり、汚れをふき取り、最後に乾いたやわらかい布で水気をふき取ってください。

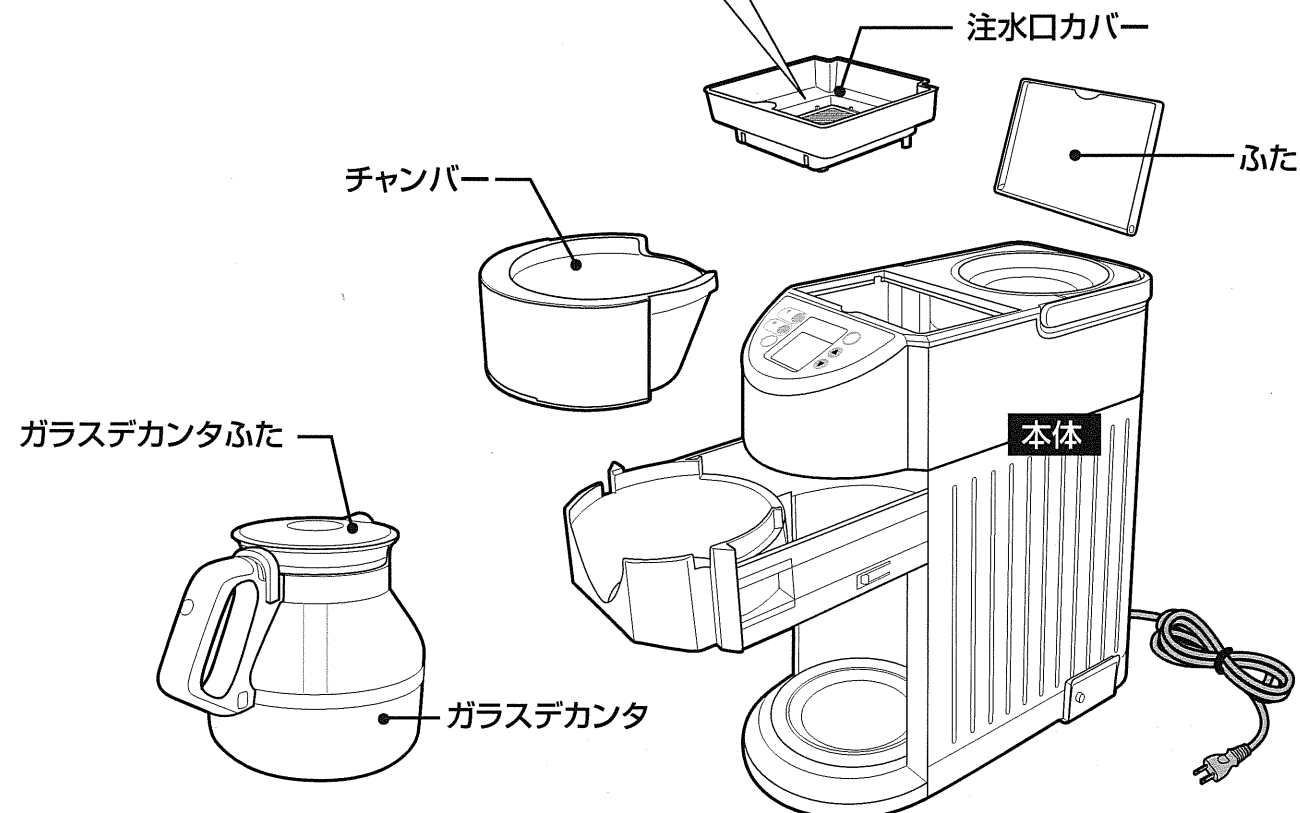
活性炭フィルター^{*}の装着方法



活性炭フィルターを取りつけるときは、注水口カバーを本体より取り出し、図の部分に押し込んでください。

※活性炭フィルターはオプション装備です。

●活性炭フィルターを使用するときは、水がタンク内に入るスピードが遅くなりますので勢いよく注水しないでください。水があふれる恐れがあります。



故障かなと思ったとき

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、下表に従って処置してください。
 いずれの場合にも当てはまらない場合は、裏面に記載している担当営業所へご相談ください。

現象	原因	処置
運転しない	差込みプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	差込みプラグを確実に差し込んでください。
	メインスイッチが「切」になっていませんか？	メインスイッチを「入」にしてください。
	建物のブレーカーやヒューズが切れていませんか？	ブレーカーを「入」にしてください。 ヒューズをセットしてください。
水を入れても抽出されない 抽出量が少ない	タンクが満水になっていませんか？	一度紙フィルターをはずして、タンクを満水にしてください。
	入れる水が少なくありませんか？	0.7L以上の水を入れてください。
抽出具合が悪い	本体内のタンクやパイプに湯あかが付着していませんか？	裏面に記載している担当営業所にご相談ください。
	注水口に異物が付着していませんか？	異物を取り除いてください。
コーヒーがチャンバーからあふれる	チャンバーにコーヒー粉がこぼれて、穴が詰まっていますか？	チャンバーを洗ってつまっているコーヒー粉を取ってください。
	コーヒー粉を入れすぎていませんか？	適正量にしてください。
音がうるさい	製品を置いている台はしっかりしていますか？	安定した平らな場所に設置してください。
	製品を水平に据えていますか？	
	製品がまわりの物に触れていませんか？	まわりの物と10cm以上すき間を開けてください。
表示部に「E41」と表示し、 湯沸し中ランプが点滅している	湯沸し中に注水していませんか？ コーヒー抽出に適していない温度で抽出した場合に表示します。	適温ランプが点灯していることを確認してから注水してください。(P.6参照) なお、抽出したコーヒーの温度が低い場合は、コーヒーの味が低下しますので再度コーヒー抽出をやり直してください。
	「抽出中」の表示開始から2分以上たって水を注水口に入れた	抽出を行う場合は、足し水をしないで一度に入れてください。なお抽出したコーヒーの温度が低くなる場合があります。
表示部に「E11」と表示し、 湯沸し中ランプ・適温ランプが点滅している	タンクに水が入っていますか？	メインスイッチを「切」にして水をタンクに入れたあと、再度メインスイッチを「入」にしてください。
	湯沸しランプ点灯時に抽出操作を行った	必ず適温ランプが点灯していることを確認して水を入れてください。(P.6参照)
	メインスイッチが「切」の状態抽出操作を行い、抽出中にメインスイッチを「入」にした 抽出中にメインスイッチを一度「切」にし、再び「入」にした	必ずメインスイッチを「入」にして抽出してください。 また抽出中はメインスイッチを「切」にしないでください。
<ul style="list-style-type: none"> ●「E41」は「抽出中」の表示が消えると同時に消え、通常の表示に戻ります。 ●「E11」と表示した場合は、一度メインスイッチを「切」にして、数分たった後、再度メインスイッチを「入」にしてください。 ●上記の処置を行っても「E11」が表示される場合やその他の表示が出た場合は、裏面に記載している担当営業所へご相談ください。 		